

# 平成 27 年度 校区まちづくり懇談会 意見交換要点筆記

## テーマ:まち・ひと・しごと創生について

小学校区:下妻小

開催場所:下妻小学校体育館

日 時:10月29日(木) 19:30～

参加人数:74人

### 【出席者】

市長、副市長、教育長、部長職

### 【内 容】

1. 開会
2. 市長あいさつ
3. 地元代表あいさつ
4. 筑後市における人口の現状と将来推計について
5. 意見交換

質問①	
男性A	下妻小校区の空き家対策の進捗状況、利用状況を教えてください。
回答①	
企画 財政 課長	企画財政課にて調査を行い、老朽化が進んでいる空き家については家主にお願いし処分をしている状況である。また、利活用できる空き家については空き家バンクに登録して頂き、筑後市に住みたいという方に対して情報提供を行っている。下妻小校区の資料が手元にないため、後程お示しする。

質問②	
男性B	以前、下妻小校区の若い男性と他の地域の女性とでお見合いパーティを行ったことがあったが、結果、一組も成立しなかった。ただ、小さい校区で行ったものだから、会の信用度もなかったのか、女性が少し怪訝されたのかもしれない。筑後市が主催すれば、男性も女性も安心して出席できるのではないだろうか。そのような出逢いの場の創生に力を入れて、市として取り組んで頂きたい。
回答②	
総務	筑後市、八女市、広川町にて八女・筑後結婚サポートセンターというものを設置

<p>部長</p>	<p>している。そのセンターが主催して定期的にお見合いパーティを開催しており、市内にも結婚サポートセンターの看板を立てている。結婚サポートセンターに事前登録が必要となるのだが、その後に出会いの場の案内を行っている。成婚率は、そう簡単にはいかないというのが現状である。隣の八女市が以前テレビで大々的にお見合いイベントを開催されたので、筑後市も同じことを行うのはなかなか難しいので、これからも結婚サポートセンターを中心に行っていきたいと考えている。来月、福岡県と共催で、ライフデザインセミナーというものを開催する。きっかけをつくるための指南として、恋愛応援セミナー、結婚応援セミナーなど、サンコアとおりなす八女を会場に計4回開催する予定である。</p> <p>空き家対策については、12月6日に福岡近郊の方に対して筑後市への定住を呼びかけるためのバスツアーを開催する予定である。その中で、空き家バンクに登録している4件の空き家物件の見学を行う。</p>
<p>市長</p>	<p>昔は、隣近所のおじさんおばさんが色々と世話を焼いてなんとか一緒にになれるような雰囲気を作っていたが、今は仲人のいない結婚式が多い世の中になってしまった。先日、ソフトバンクホークスの協賛試合を行った際に、農業後継者の男性と独身女性を募って、一緒にバスでヤフオクドームまで観戦ツアーを開催した。8組、16名が揃って観戦したが、結果は聞いてないものの、なかなか芳しいものではなかったのではないかと。</p>

<p>質問③</p>	
<p>男性C</p>	<p>7月25日に船小屋の花火大会があった。ボランティアで後片付けに行く予定であったが、台風の関係で日曜日が月曜日に変更となり、月曜日の集合時間である8時半に現場に行ったが、時間になっても市の職員は来なかった。また、台風の後にも関わらず、とてもゴミが少なかった。話に聞いたところ、船小屋の公園で、ある方が、いつもグラウンドゴルフをされているようで、その方がゴミばかりでゴルフができないからといって市役所に掃除を依頼した。それで、日曜日にもかかわらず、業者に委託し掃除をしてもらったとのことであった。要らない税金を使ってそのようなことをして、私たちからすればもっての外である。そのような時間があるのであれば、ボランティアに頼むとよいだろう。グラウンドゴルフ協会の偉い方々に、そのようなご尽力してもらえよう伝えてほしい。</p>
<p>回答③</p>	
<p>建設 経済 部長</p>	<p>船小屋の花火大会については、建設経済部の商工観光課が窓口となっている。昨年までは、各団体にお願ひして、時間を決めて花火のクズを拾ってもらっていた。花火のクズがあまりにも多く、どれだけ拾っても拾いきれないということで、ブローカーで掃除をすると効率よくできるのではないかと話になっていた。今回からは確かに業者に委託している。連絡が行き届いていなかったことについてはお詫び申し上げる。今回お話いただいた件については花火大会の実行委員会において協議を行いたい。</p>

質問④	
男性D	<p>(1) 中折地が筑後市の中で高齢化率が最も高いと思っていたが、2番目であった。中折地の人口は年に5人ずつ減っており、以前からすると相当減っている。人口が減っている原因として、核家族化が進んでいること、子どもたちがほとんど外に出ている。子どもたちが戻ってくれば人口は増えるのではないか。これらの対策として、住宅の手当など、補助金を使ってもらいたい。そのような考えは持っているのか。</p> <p>(2) 中折地の水路、道路の整備が出来ていないところが多い。整備の負担金については、経済的に余裕がある地区は例えば 1/2 でもよいのだろうが、世帯数が少なく経済状況がよくない地区には 1/3 としてもらってもよいのではないか。地区の経済状況を踏まえ公平となるような、負担金の率にしていきたい。</p>
回答④	
総務部長	<p>筑後市では、定住促進計画をつくっており、その中で、中古住宅の購入・改修補助、新築マイホーム取得支援事業として筑後市に新築を建てたり建売の物件を購入した方に奨励金の支払い、新婚世帯に対しての家賃補助などを行っている。これらの事業は、あくまで建物がついているもので、Uターンで帰ってきたという方に対する補助金の利用は現在ないので、総合戦略の策定委員会にて議論したい。</p>
建設経済部長	<p>道路の整備については、地元からの負担金は頂いていない。水路の整備については市内一律で地元負担を 10%頂いている。この負担金は、各行政区で貯めているお金で賄っているところもあるが、殆どの行政区では対象となる水路の沿線の地権者の方に 5%ずつ頂いているケースが多い。確かに中折地については、整備をした記憶があまりない。もし、行政区で整備の優先順位をつけてもらえれば、それらの対応について協議させて頂きたい。二川小校区では、今までは各行政区でバラバラに要望してあったが、水路や道路はひとつの行政区を通っている訳ではないので、校区コミュニティ協議会にて優先順位を決めてもらい、統一した要望書を出して頂いている。</p>

質問⑤	
男性E	<p>下妻小の生徒は、18年前は 136 名であった。現在 76 名、他地区から来られている子どもが 14 名となっている。この 18 年間で生徒の数は半減している。一方、古島小ではその当時 60 名弱であったが、現在は 96 名とのこと。これは県営住宅や戸建ての住宅が建っていることもあり生徒数が増えている。下妻小校区の状況は、基盤整備が終わっており、農業振興地域の青地、農用地区域であって農地転用が出来ず住宅が建てられないとのこと。狭いながらも野菜がつかれるような庭のある戸建ての家が理想であるだろうが、戸建てにしてもアパートにしても、特例で何か住宅を建設して頂ければ生徒数が増加し、地域が活性化するのではないだろうか。</p>
回答⑤	
市長	<p>私共も常にそのようなことを思っているところである。住宅用地として土地の開発ができることが、市の活性化への近道となる。農業的な土地利用をするということで多額の国税が使われているため、それらを転用するには非常に厳しい規制が掛けられている。ただし、これから先、人口減に歯止めをかけて地域を元気にしていくためには、そういった特例を駆使して居住の基盤を作らないといけない。</p>

	<p>先日、前の農林水産大臣、林大臣との意見交換会の際に、今回の地方創生の計画の中で、市が、ある地区を住宅地として開発すると位置づけるのであれば、規制を緩やかにしてほしいと要望した。了解は受けられなかったものの、そのような方法でもしない限り厳しい状況である。また、現在、県道の久留米瀬高線の付替え構想があるが、それが実現すると、旧県道と新県道の間に農地ができる。その農地を転用できるよう、何か知恵が出せないものか考えている。</p>
農政課長	<p>国の言い分では、自給率 45%を維持するには農地は潰してはいけなくなっている。特に、優良農地とされている所は簡単には転用ができない。例外として、農家の後継ぎが分家をする場合や、農産物の直売所など農業の発展につながるものは認められている。ソフトバンクも来ることから、どうかしないといけないと考えるが、なかなか厳しい状況である。宅地の横の敷地など、状況によっては何とかできる場合もあるので、その場合は1軒ずつ話を聞いて県と協議を行うなどして進めていきたい。</p>

質問⑥	
男性F	<p>区長会での協議において、現在下妻小校区内で 20～22 件の要望を出している。その中で受理されたものは2、3件ほどであるが、受理されても取りかかるのは30、31 年になるとのこと。校区内での順位付けが必要との事だが、道路の水たまりが酷いところ、道に隙間があるところ、危険性を伴うものもあり、要望が出ているものは既に酷くなっている状態である。要望書を出してから、1年位経ってその返事が来る。そこから 30、31 年までに現地を視察し、それから整備にかかる。その時までになんかどうなっていることか。最近、お祝いがあった時、綺麗な服装に水たまりから泥が掛かって大変嫌な思いをされた。何とか、道路、水路の補修を願いたい。</p>
回答⑥	
建設経済部長	<p>確かに、形式的な要望書の回答になっていると感じる。ただ、下妻小校区において全く補修していないということではない。富安の道路、下妻の水路など計画している。下妻から馬間田の道路の舗装についても計画しているのでご理解頂きたい。要望に対する捉え方や形式的な返事については是非改めたい。最低限、何処まで早急に行うのかなど再度検証させて頂きたい。</p>

質問⑦	
男性G	<p>水路整備について、30 数名の個人所有者がいる水路があるが、市の用悪水路のように整備して頂くことはできないだろうか。その 30 数名は既にほとんどの方が亡くなっているので、1割の負担金が出せない状況である。</p>
回答⑦	
建設経済部長	<p>具体的な内容であるので、個別に協議を行いたい。原則として、市一律で1割負担はお願いしている。登記についても整理する必要があると思われるので、一度、協議させてほしい。</p>

質問⑧	
男性H	<p>地方創生として、プランを作っているということだが、校区のみで考えるのではなく筑後市を中心に考えないといけない改善であると思う。私は西日本新聞をとっているが、筑後版に掲載されるのは八女市やうきは市が多くみられる。筑後市は最近ではソフトバンクのファームに関連する記事が載っていたが、筑後市のよさをもっとPRするなど、新聞に載るような策をもっと講じるべきではないか。</p>
回答⑧	
市長	<p>毎月筑後市に関して新聞に掲載された数を出しているが、久留米市がダントツで多く、次いで大牟田市、八女市、筑後市くらいの順である。毎月の定例記者会見では、筑後市のイベントやよいところを出来るだけ紹介し、記事にもらえるようにお願いしている。新聞やテレビ局などこれからも活用していきたいと考えている。</p>

## 6. 閉会